

2020年度
新任医師のご紹介

①医師経験年数R2.4.1現在 ②趣味・特技・マイブーム ③抱負など

放射線科医長 杉盛 夏樹 すぎもり なつき

①17 ②食事
③放射線科の杉盛夏樹です。主に画像診断を担当しています。一例一例を大切に診療を行っています。宜しくお願いします。

内科医長(腎臓内科) 齊藤 弥束 さいとう やつか

①11 ②ゴルフ・スキー
③わかりやすい説明、個人個人の生活や病状に合わせた診療を心掛けています。よろしくお願いいたします。

内科医長(消化器内科) 石田 晃介 いしだ こうすけ

①10 ②テニス・アウトドア全般
③地域医療の力になれると思います。よろしくお願いいたします。

内科医長(循環器内科) 中村 翔大 なかむら しょうた

①10 ②読書
③専門は循環器です。心臓カテーテル等をさせていただきます。頑張ります。

内科医長(腎臓内科) 並木 佑子 なみき ゆうこ

①10 ②家事・育児に追われるのみです。
③呉西で生まれ育ちました。砺波で働くことをとても嬉しく思っています。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

放射線科医員 谷村 伊代 たにむら いよ

①7 ②料理
③皆様の診療に少しでもお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

小児科医員 笠原 理愛 かさはら りあ

①6 ②テニス・旅行
③これまで北陸3県のいくつかの病院で働かせていただきました。水やご飯が美味しく、綺麗で雄大な立山の見える富山県でまた働く事ができるのを楽しみにしています。

産婦人科医員 布村 晴香 ぬむら はるか

①6 ②読書が増えました。
③地域の医療に貢献できるよう、日々務めたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

集中治療・災害医療部医員 武島 健人 たけしま けん と

①6 ②本やマンガを読むこと。
③患者さまが安心して過ごせるよう、微力ながら精一杯努めさせていただきます。

内科医員(消化器内科) 稲垣 慎吾 いながき しんご

①5 ②Youtube
③消化器内科を中心とした医療の貢献に努めるとともに、地域の方々が安心して医療を受けられるように尽力いたします。よろしくお願いいたします。

精神科医員 湯浅 慧吾 ゆあさ けいご

①4 ②南の島が好きです。
③県外育ちですが、生まれは富山なので、砺波市の医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。

外科医員 黒川 祐貴 くろかわ ゆうき

①4 ②ジョギング
③至らないところもあると思いますが、精一杯頑張ります。

形成外科医員 勢藤 綾花 せとう あやか

①4 ②車と猫が好きです。
③至らぬ点も多々あるとは思いますが、日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

耳鼻咽喉科医員 中沢 僚太郎 なかざわ りょうたろう

①4 ②料理です。
③より臨床に即した知識・技術を身につけられるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

整形外科医員 石野 雄士 いしの ゆうじ

①3 ②走ること
③一人一人丁寧な診療を心がけています。できるだけ患者さんの力になれるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

歯科口腔外科医員 小林 博和 こばやし ひろかず

①3 ②ドライブ・道の駅スタンプラリー
③地域住民の皆さんの口腔内の健康増進と、それに伴う生活の質の向上に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの流行に際して

地域医療部長 吉田 貢一
Yoshida Koichi



これまで経験したことのない今般の新型コロナウイルスの流行に際しまして、砺波医療圏で急性期医療を担う病院として院内感染を起こさないよう、当院でも日々変わる状況に応じて対策を講じてまいりました。

こうした中で、連携医療機関の皆さまには、紹介患者さんへの新型コロナウイルス感染症状等の確認や、一部診療の制限にご協力いただき、誠にありがとうございます。

現在まで大過なく診療を継続してこられましたのも、皆さまのご理解ご協力のお陰様と心より感謝申し上げます。

国内での感染拡大は落ち着きを見せたものの、状況はまだ予断を許しません。当院では当面の間、下記のとおり感染拡大防止対策を続けます。引き続きご協力をお願い申し上げます。

砺波医療圏地域医療連携セミナー・その他セミナー等の開催について

令和2年度の開催については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間見合わせていただきます。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

すべての来院者にマスク着用と体温測定のご協力をお願いしています。

正面玄関前および救急外来入口で体温測定を行います。37.3度以上の熱がある方には問診し、その方の目的に応じて対応いたします。

入院患者さんへの面会も引き続き原則禁止いたします。

6月よりAI体温検知カメラ<Heat-Tracker Solution>を導入



患者総合支援センター「おあしす」
スタッフ紹介



後列左から
池田 横田 堀 谷口 安川 窪島 水上
前3列目左から
蔵田主任 石田師長代理 小松 小竹美主査 神田
前2列目左から
原田 篠島 若松主任 林 北山 松物 大木師長代理
前列左から
小竹尚主査 鈴木室長 吉田部長 山本主幹 戸田師長
写真外 竹田啓 (Ns.) 天川主幹 (事務) 岩坂 (保健員) 竹田元 (ケアマネ)

Dr. Ns. S.W ケアマネ 保健師 事務

編集後記

国内で新型コロナウイルスの感染者が初めて確認されたのは真冬の1月16日。あれから季節は巡り、夏がやってきました。今できることは何か？と新しい生活様式を模索するように、連携室もまた試行錯誤を重ねながら、地域の窓口として心を込めて日々の業務に励んでいきたいと思っております。今後もよろしくお願いいたします。(O.N)

連絡先 地域医療連携室 TEL 0763-32-8361 FAX 0763-33-1591

循環器内科のご紹介

～近年の進展をふまえて～



内科部長
循環器内科 鷹取 治

Takatori Osamu

関係各位の皆様いつも大変お世話になっております。この度は市立砺波総合病院循環器内科のご紹介をさせていただきます。

現在循環器内科は、白石浩一、鷹取治、池田景子、黒川佳祐、中村翔大の5名で構成されています。心不全をはじめとして、虚血性心疾患、各種不整脈や閉塞性動脈硬化症など循環器疾患全般を幅広くカバーしています。

心不全におきましては、砺波医療圏はご高齢の患者さんが非常に多く、背景も様々です。入院を契機にADLが低下してしまうケースが多い中、当院は心臓リハビリテーションを早期から取り入れ、社会生活の維持を目標としております。また心不全は薬物治療が根幹であり、予後延長効果が再入院予防を視野に投薬を行っています。

虚血性心疾患は、以前は冠動脈造影で有意狭窄があれば即座に治療を行う時代がありました。しかしエビデンスの集積により、手当たり次第に治療する時代は終わり、近年は冠血流予備能比や核医学検査などを通じて最適な治療を選択する時代になりました。進行性病変かどうかも評価し、PCI・バイパス手術のどちらが望ましいか患者さん個々に柔軟に対応するように努めています。

不整脈治療の大きな進展は心房細動に対するDOACの普及です。多数の患者さんがDOACの恩恵を受けることができるようにな

りました。しかし一部の心筋症例や腎障害症例などではワーファリンの使用が望ましいケースもあり、患者さんと相談して選択しています。徐脈性不整脈へのペースメーカー移植術は当院で施行し、アブレーション治療やICD/CRTなどのデバイス治療が必要な患者様は連携施設へ紹介のうえ、術後のフォローは当院で行っています。

心臓弁膜症治療では経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI）が普及してきています。社会活動が可能なご高齢者で重症大動脈弁狭窄症を抱えている患者さんは、当院から連携施設へ紹介しています。

当科では学会発表や各種講演も積極的に行っております。先進的な医療が提供できるよう情報収集し、様々な診断・治療を当院で完結していくことを目指しております。

先生方におかれましては、本年も変わらないご支援を頂けましたら幸いです。今後とも宜しくお願い申し上げます。

With COVID-19



左から順に
鷹取部長、中村医長、白石主任部長、黒川医長、池田医長

外来受診表（循環器内科）

午前8:15~11:00	月	火	水	木	金
初診	池田	池田	池田	中村	鷹取
専門科（予約）		鷹取	黒川	黒川	中村

乳腺センターのご紹介



外科部長
乳腺センター所長 野崎 善成

Nozaki Zensei

連携医の先生方のおかげをもちまして「乳腺センター」は開設3年目を迎えることができました。紙面をお借りして心よりお礼申し上げます。

乳腺センターでは乳腺診療、とりわけ乳がんの診断から治療、ケアを一貫して行っており、診療科や部署、職種の垣根を越えた「チーム医療」を実践しています。

当センターで特筆すべき点は日本乳癌学会乳腺専門医（指導医）1名、同認定医3名、形成外科学会専門医2名（指導医1名）という充実した布陣です。これは呉西地区のみならず県内でも屈指の乳腺診療体制であると自負しております。

乳腺センターでのマンモグラフィーは全例、読影認定医によるトリプルチェックが行われます。週に一度、多職種による「乳腺カンファレンス」を開催し、マンモグラフィー、超音波などの画像所見と手術や組織生検により得られた病理所見を詳細に検討し、治療方針の決定を行っています。

乳がんに対する手術、薬物療法、放射線治療においては診療ガイドラインを遵守しつつ質の高い治療を提供しています。とりわけ手術に関しては根治性のみならず、整容性も追求しており、当センター開設以来、形成外科との連携のもと乳房再建手術にも積極的に取り組んでいます。2年間で12件（人工物8例、自家組織4例）の一次乳房再建

（乳房の切除と同時に乳房再建を行う）を行い、良好な成績を得ています。

最近問題となっている遺伝性乳がん（おもにBRCA遺伝子変異）については、金沢医科大学病院ゲノム医療センターとの連携のもと、遺伝子検査や遺伝カウンセリングにも対応しています。

今後は、がんゲノム診断に関しても金沢大学や富山大学などの高次医療機関との連携体制を構築していく予定です。

乳がんはいまだに増加傾向にあり、日本人女性の11人に1人が乳がんにかかるといわれています。乳がんは早期発見し、適切な治療を行えば多くが完治しますし、完治しなくとも治療が奏功し、長期生存が期待できます。そのプロセスの多くを地域で完結可能にするべく今後も努力していきたいと考えております。

今後とも乳腺センターをよろしくお願い申し上げます。

Before COVID-19



前列左から
清原副院長、瀧健診センター所長、林医長、野崎部長

外来受診表（乳腺センター）

午前8:15~11:00	月	火	水	木	金
初診・予約			野崎	野崎	野崎